

EU のリスボン条約発効と対欧州外交

平成22年2月3日 在スペイン大使 高橋文明

●EU の重要性

- ・ 基本的価値観: 民主主義、法の支配、人権、自由等の価値観を我が国と共有。経済社会面では市場経済・自由競争だけでなく社会政策、社会保障も重視(別添記事要旨参照)。
- ・ 国際社会における欧州の力: 議題設定能力(気候変動(排出権取引)等)、ルール策定能力(標準化、会計基準等)、世論形成能力(BBC、エコノミスト等英語、西語、仏語プレス)、旧植民地諸国(特に、アフリカ、中南米)に対する特別の関係。
- ・ EUの規模等: 世界の GDP の 30%、貿易の 39%、直接投資の 51%、ODA の 58%、ノーベル賞(自然科学系)受賞の 43%。(FTA も積極的に推進: 23 カ国・地域と締結。韓国と仮署名。)
- ・ 加盟のメリット: 大きい。加盟国数も拡大中(現在 27 ヶ国)

(例: スペインは加盟後1人当たりGDPが3倍以上に(86年約\$1万→08年約\$3.2万))

●リスボン条約発効による体制強化→EU の国際社会における力・役割は更に拡大(但し暫くは過渡期か)。

- ・ 一つの声で発言: 欧州理事会常任議長、外務・安全保障政策上級代表、及び欧州対外活動庁の設置
- ・ 機構の効率化による迅速な統一方針策定: 多数決制の適用分野拡大、複雑な法体系の整理簡素化
- ・ EUの政策領域拡大: 司法・内務分野の権限委譲、テロ対策、気候変動への対処
- ・ 民主的統制強化: 欧州議会の権限強化(立法・予算・条約の面で欧州理事会と対等の権限を確保) → 議会レベルでの交流が益々重要に。

●我が国の対応

EU 側は新興国との関係強化に傾注。グローバルな課題に日本の国益を増進させる形で対応するには EU との対話・協力・調整の強化が重要。(海賊対策、アフガニスタン/パキスタン支援、気候変動、国際経済・金融、経済関係の強化等。)